

第11回 AEM + 3 会合
2008. 8. 28 シンガポール

共同記者発表（仮訳案）

1. アセアン経済閣僚と日中韓の閣僚の間の第11回会合は、2007年8月28日にシンガポールで開催された。シンガポールのリム・フンキャン通商産業大臣、中華人民共和国の陳健商務副部長、日本の二階俊博経済産業大臣、大韓民国のキム・ジョンフン通商交渉本部長が共同議長を務めた。
2. 閣僚たちは、グローバルな経済状況及びアセアンや北東アジア各国における最近の経済発展について意見交換を行った。同時に、日中韓三国とアセアンとのFTA（中アセアンFTA、韓アセアン、日アセアン包括的経済連携協定）の状況について留意。これらのアセアンプラス1の協定が東南アジアと北東アジアの経済統合という全体的な目的の実現に寄与するものであると確信した。
3. 閣僚たちは、アセアンから日中韓三国への物品の輸出については、2006年の16.1%の増加と比べて緩やかながらも、1735億米ドル(2006年)から1925億米ドル(2007年)へ10.9%増加したことに留意した。日中韓三国からのアセアンの物品輸入については、2006年の11.1%増加に対して、2007年は15.7%増加した。金額では、日中韓三国からのアセアンの輸入は、2006年の1842億米ドルから、2007年の2131億米ドルへと増加した。日中韓三国からのアセアンの輸入の増加が、輸出の減少を緩和し、両地域の貿易をトータルで13.4%増加させた。アセアンプラス3諸国の貿易はトータルで、2006年の3577億米ドルから2007年の4055億米ドルに増大し、2006年の25.5%からわずかに減少しつつも、アセアン全体の貿易の25.1%を占めている。
4. 閣僚たちはまた、2007年に日中韓三国からアセアンに対して、2006年の136億米ドル相当より6.7%減少しながらも、126億米ドル相当の外国直接投資が行われたことに留意した。2005年から2007年の間に日中韓三国からアセアンに行われた累積外国直接投資は333億米ドルに相当し、同時期のアセアンへの外国直接投資の流れの約21.0%に相当する。

東アジア協力に関する第 2 共同声明

5. 閣僚たちは、アセアンプラス 3 協力 10 周年を記念して、2007 年 11 月 20 日にシンガポールで開催されたアセアンプラス 3 サミットで採択された「東アジア協力に関する第 2 共同声明」を歓迎した。閣僚たちはまた、東アジアの首脳たちによって発出された第 2 共同声明を、アセアンプラス 3 のプロセスが長期的な目標である東アジア共同体建設のための手段であることを再確認するものとして歓迎した。このプロセスにおけるアセアンのドライビングフォースとしての役割を再強調した。
6. 閣僚たちは、アセアンプラス 3 のプロセスの経済的な側面に携わる、分野別の組織及びビジネスセクターに対して、アセアンプラス 3 の活動への参加及び東アジアでの経済成長と持続可能な開発の促進について、先行的に取り組むことを要請した。閣僚たちは、アセアンプラス 3 協力基金の委任事項が、2008 年 7 月 22 日にシンガポールで行われたアセアンプラス 3 外相会合で是認されたことを歓迎した。アセアン経済閣僚は、日中韓三国に対して、当初の貢献に感謝するとともに、目的とする経済的社会的効果の実現のため、基金を効果的に活用することを要請した。

経済協力プロジェクト

7. 閣僚たちは、IT、中小企業、適合基準・品質、環境、物流管理を含む広範な分野における経済協力プロジェクトの実施の進展に留意した。

地域協力の強化

8. 閣僚たちは、専門家グループによる東アジア FTA (EAFTA) のフェーズ 2 研究の進捗報告に留意した。本研究は提案された EAFTA について、分野ごとに詳細な分析を行い、この種の FTA について実現可能な選択肢を提示するため、物品・サービス・投資分野の市場へのアクセスについて、重要な要素を調査することを目的とするもの。閣僚たちは、専門家グループに対して、アセアンプラス 3 のプロセスへの継続的な貢献について感謝した。閣僚たちは、2009 年の第 12 回アセアンプラス 3 会合において最終報告を受け取ることへの期待を表明した。

世界貿易機構 (WTO)

9. 閣僚たちは、ドーハラウンド交渉の状況について、2008年7月にジュネーブで開催されたWTO閣僚会合での進展の観点から意見を交換した。
10. 閣僚たちは、不一致を克服し、交渉を成功に導くため、建設的な議論に積極的に参加した。閣僚たちは、WTO事務局長及び交渉議長、特に農業及び非農産品市場アクセス (NAMA) の交渉議長に対して、数月中にも野心的でバランスのとれた意見の一致を得るための努力について、確固とした支援を行うことを表明した。
11. 閣僚たちはまた、ラオス人民民主共和国のWTOへの加盟に向けた努力についての支援を再確認した。

アジア太平洋経済協力 (APEC)

12. 閣僚たちは、2008年5月31日から6月1日にペルーのアレキパで行われたAPEC貿易担当大臣会合の成果について意見を交換した。閣僚たちは、APEC首脳会合が2008年11月16日から23日の間、ペルーのリマで開催予定であることについて留意した。

アジア欧州会合 (ASEM)

13. 閣僚たちは、ASEMで行われている活動の最近の進展について留意。2008年10月24日、25日に北京で開催予定の第7回ASEMサミットへの期待を表明した。テーマである「展望と行動－双方に有利な解決に向けて (“Vision and Action - Towards a Win-Win Solution”) 」と調和すべく、第7回ASEMにおいて、首脳は、主要な世界的課題・地域的課題について詳細な議論を行い、アジア・欧州両地域の住民に有益な対話及び協力を強化する予定。
14. 閣僚たちはまた、第7回ASEMに先だって、2008年10月21日から24日に第11回アジア欧州ビジネスフォーラムが開催されることに留意した。第11回アジア欧州ビジネスフォーラムにおいては、「トレンドの確保、行動と官民パートナーシップの時 (“Seize the Trend, Time for Action and Public-Private Partnership”) 」

がテーマとされ、金融安全保障、エネルギー協力、中小企業の発展、貿易及び投資の自由化が主な論題となる予定。

アセアンプラス3サミットの準備

15. 閣僚たちは、2008年12月にタイのバンコクで開催予定のASEAN プラス3サミットの準備が進行中であることについて留意した。